

## 2～3月どりレタスの時期別生育と全重、球重との関係

白井英清・牛田均・松崎朝浩

レタスの生育モデルを作成し、収量および収穫時期の予測方法を確立するための第1段階として、2、3月どりレタスの生育パターンを把握し、全重、球重と生育時期別葉面積および各葉位の葉長、葉幅との関係について検討した。

1.  $y = -1.87 + 0.755x$  ( $y$  は葉面積、 $x$  は葉長と葉幅の積)の回帰式から得られた推定葉面積と全重、球重との関係は、定植50日後頃の結球開始時期から相関関係が高くなった。

2. 各葉位の葉長、葉幅と全重、球重との関係は、13葉から16葉の葉幅と全重、球重との間で相関関係が高くなった。最大葉の葉長、葉幅と全重、球重との関係は、定植50日後頃の結球開始期から相関関係が高くなった。

3. 全重は、定植40日後頃の結球開始期前の12月から定植80日後頃の球肥大充実期の1月上旬までの外葉葉面積の影響が大きく、球重は、定植35日後頃の外葉発育期から定植60日後頃の球肥大充実期までの外葉葉面積の影響が大きかった。

キーワード:球重、全重、2～3月どりレタス、葉面積、予測